

7・8月のスペース・イオ よこて

7月の創作タイムでは、「あずま袋」を手縫いで制作しました。“自分の好きな柄の手ぬぐいをお店で買って持ってくる”というミッションにも素直に応じてくれ、個性あふれる袋を1時間程度であっという間に完成させました。心を込めて制作した袋だったのか、赤ちゃんを抱くように大事に抱える姿が印象的でした。また、次の日から弁当を包んで持ってきてくれたり、「洗い替えにもう一つ作りたい」と一人で複数制作したりするなど、動機付けの高い活動となりました。

夏休み明け直前の8月19日より教室開放を行いました。仲間と一緒に、夏休みの課題を行うことで、「ほどよい緊張感の中で学習ができた」「集中して勉強できた」といった感想がありました。学校モードに生活リズムを整えるなど、夏休み明けに向けて、よいウォーミングアップになったのではないかと思います。



夏休み明けの登校しぶりについて

スペース・イオ よこて 主任 藤谷 淳一

「長期休業明けに不登校になりやすい」といった傾向を示すデータはありませんが、学校現場ではよく知られている事実です。生活リズムを学校モードに戻すためのエネルギーが不足している、夏休みに自分のストレスを自覚してしまい、負担を感じる場所に行きたくなくなるなど、要因は多岐に渡ります。

保護者や教師が「なぜ学校に行きたくないのか」「どうして夜更かしてしてゲームに没頭するのか」と直接聞いても、お子さんは自分から話してくれないことの方が多いように思います。その場合には、焦らずに、お子さんの普段の様子をよく観察し、ちょっとした変化や声に耳を傾けるようにしてみましょう。

子どもの視点から、右表の①～③を想像してみると、今後の対応のヒントになるかもしれません。

ワーク：子どものSOSに気が付こう

- ①無理して登校している所はないか？
E X：体調不良を訴える、起きれない
- ②学校生活や日常生活で頑張りすぎていたことはないか？
E X：部活や習い事の後に無気力だ
- ③辛いこと、嫌だと感じていることはないか？
E X：宿題に手をつけなくなった 等



教育相談等の問い合わせ先 秋田県立横手高等学校定時制課程 Tel. 0182-32-2011
教頭 齊藤 正稔 主任 藤谷 淳一

「イオよこて通信」は、横手高等学定時制課程のホームページ(<http://www.yokote-h-tei.akita-pref.ed.jp/>) からダウンロードできます。

「アサーティブな表現を関係を目指そう」

学習指導カウンセラー 江村 慎平

あなたは人と話すとき、どんな風に話しますか？自分が話したいことをどんどん話しますか？それとも、言いたいことをなかなか言えず、がまんしていますか？

人と話す時の ちょうど良い距離感、関係性というものがあります。

それは、「アサーティブな関係」と呼ばれるものです。相手を尊重しながら、自分の意見も伝えられる、という関係性です。



アサーティブに表現するための3つのコツ

1. 「ちょっと話を聞いてもらいたいんだけど」
→（相手をお願いすると聞いてもらいやすいよ！）
2. 「私はこう思うけれど、〇〇さんはどう思う？」
→（お互い意見が違っていいというメッセージを添えると、伝えやすいね！）
3. 聞いてくれてありがとうね
→（感謝の気持ちを伝えると、次の話も聞いてもらいやすいね！）

友情パワーを
貯めていこう！

